

会議の名称	茨木市市民会館跡地活用検討委員会 第3回
開催日時	平成29年11月28日(火) (午前 午後) 7時00分 開会 (午前 午後) 9時00分 閉会
開催場所	市役所南館3階 防災会議室
出席者	[委員] 福本雄也、渡辺志穂里、中村裕二、阿部格朗、黒田隆男、 井元真澄、福田公教、木村光佑、川本由貴、木村正文、建山和由、 久隆浩  【12人】
欠席者	なし
事務局職員	秋元企画財政部長、田川市民文化部長、小田市民文化部理事、 北達健康福祉部理事、佐藤こども育成部長、吉田産業環境部長、 鎌谷都市整備部長、岸田建設部長、 小西政策企画課長、庄田文化振興課長、 向田政策企画課参事兼市民会館跡地活用グループ長、 森本政策企画課課長代理兼政策推進係長、川嶋政策企画課職員  【13人】
開催形態	公開
議題(案件)	1 開会 2 茨木市市民会館跡地エリア活用基本構想(案) 審議 3 今後の日程について 4 閉会
配布資料	検討委員会次第 資料1「基本構想(案) 2章から4章の修正案」 資料2「茨木市市民会館跡地活用検討委員会規則」  (審議中配布資料) 木村光佑委員資料 茨木市民会館跡地活用についての私案 川本委員資料 ホールの使い勝手や機能面の私案
傍聴人	5人

# 会 議 録

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
司 会 (小西副理事)	<p><b>1 開会</b></p> <p>本日の委員の出席状況だが、12人全員が出席しており、委員会規則第6条第2項の規定により会議は有効に成立している。</p> <p>それでは議事の審議に移りたいと思う。</p> <p>委員会規則第6条第1項の規定により、久委員長に議長をお願いする。</p>
久委員長	<p><b>2 茨木市市民会館跡地エリア活用基本構想（案）審議</b></p> <p>ただいまから、茨木市市民会館跡地活用検討委員会を開催する。</p> <p>施設見学会に引き続き委員会もよろしく願います。</p> <p>なお、前回と同様に会議は公開としている。</p> <p>本日はパブリックコメントを見据えての会議となるので、基本構想（案）の最後の章まで進めていきたいと思う。</p> <p>はじめに、これまでの審議を踏まえ、事務局から2章から4章部分の修正案をいただいているので、説明をお願いする。</p>
向田参事	<p><b>【資料1 基本構想2章から4章の修正案について説明】</b></p>
久委員長	<p>修正箇所及び、4章までの内容でご意見等はあるか。</p>
阿部委員	<p>先ほどフューチャープラザの見学をしたが、11トントラックの搬入に対応できるものとなると、かなりの広いスペースが必要になることが分かった。そのスペースを確保した上で、基本構想にあるような憩いの場を設けるのは難しいのではないか。</p>
久委員長	<p>新しい施設だけではなく、中央公園等を含めて一体的に整備をし、機能の充実を図るものである。敷地内だけでは窮屈かもしれないが、もう少し広い範囲でご検討いただければと思う。</p> <p>他にご意見等はあるか。</p>
各委員	<p><b>【質問・意見なし】</b></p>
久委員長	<p>それでは、5章の説明をお願いする。</p>
向田参事	<p><b>【資料茨木市市民会館跡地エリア活用基本構想（案）5章の説明】</b></p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>5章に関連した話で、木村光佑委員から、市街地全体を広く捉えた上で、跡地エリアの位置づけを検討した私案として、イメージ図をいただいている。また、川本委員からは、B案の施設配置を前提とした、ホールの使い勝手や機能面についての私案をいただいている。</p> <p>事務局には、両委員の資料の配布をお願いしたい。</p>
事務局	<p><b>【木村光佑委員資料と川本委員資料を配布】</b></p>
久委員長	<p>それでは、木村光佑委員から資料の説明とご意見を願います。</p>
木村（光佑） 委員	<p>市民会館跡地については、跡地のことだけを考えるのではなく、もう少し広く捉えて考えるべきではないかと思う。市役所周辺が跡地エリアになるが、南北に、元茨木川跡地の整備により生まれた緑の濃いエリアである川端通り、桜通りがある。元茨木川の整備で生まれた川端通りは大成功で、たくさんの人が集まってこられている。また、南北の線には、元茨木川だけでなく、今も流れている小川もあらわしている。水が流れているというのは、非常に文化的であり、例えば、小川に小石を敷き詰めれば、芝も映えるし、さまざまな鳥も来るなど、憩いになると思う。</p> <p>東西については、もう少し並木の量を増やしたり、石畳にするなど、憩いを感じながら歩けるような整備した方がいいと考えている。というのは、今度の施設は「人を集める場所」ではなく、「人が集まってくる場所」にしなければならないと考えているからである。</p> <p>例えば、スロープの設置されたガラス張りの建物を建てて、中から外が見える、綺麗なまちなみや自然を眺められるというところでも、人が集まってくることも考えられる。そのためには、中から外を見た時のまちなみに、少しでも茨木らしきを出した方がよいと思う。以前、茨木の都市景観委員会や大学のゼミで滋賀県の長浜に行ったことがあるが、黒壁ガラス館や、ギャラリー、オルゴール館など、非常にたくさんの方が集まっていた。長浜では文化を前面に押し出していたが、茨木でも、例えば、緑を押し出して、緑いっぱいの都市にすれば、施設から外を見る楽しみができるのではないかと思う。そのようにまちなみを綺麗にしていくことが、人が集まっていくことになるのではないかと考えている。</p> <p>エリアより、広くゾーンとして考え、茨木全体が跡地とどのように関わるのかを考え、「どこ」まで、「いつ」やるか、を決めていくべきではないか。今後、阪急茨木市駅や、JR茨木駅がどうなるのか、という計画との兼ね合いをもって、跡地の施設をどうするのか考えていけばいいと思う。</p> <p>今日、立命館大学フューチャープラザを見学させていただき、ホールの</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>重要性も認識しているが、ただ、ホールには大変広いスペースが必要となる。例えば、現在の美術館では、可動式の席にしておくことで、催し物がない時には広い部屋として活用できるなど、もっと多くの人が集まることができるような施設として作られており、ホールにしても、考えてみてはどうか。</p> <p>いずれにせよ、できるだけ茨木全体の中で、跡地活用を考えていきたい。</p> <p>皆様の意見をいただきながら議論していければと思う。31 ページでも案が書いてあるが、5 章はA案とB案のどちらがいいのかの評価のみなので、ここに、計画設計するときには、ゾーニングエリアとして考えていくべき、ということを書き込んでいけばどうかという意見だと理解する。</p> <p>続いて、川本委員から資料の説明も含め、ご意見を願います。</p>
川本委員	<p>ホールの観点からお話する。本日、立命館でもご覧いただいたが、ホールは舞台の奥行きと間口を確保した上で、吊物装置には高さが必要であり、ホールには小さくても建物5階程度の空間が必要である。</p> <p>また、複合施設として、多くの機能が入る予定だが、遮音の問題もあり、ホールとして考えれば、できれば別棟にするのが望ましい。催事内容にもよるが、吹奏楽、和太鼓の音やダンス等の振動は特に下に響くので、ホール部分は上層階より1階にあるのが望ましい。また、合唱コンクールや吹奏楽コンクールを誘致することがあるとすれば、収容部屋の不足から、ホワイエなどで練習することも想定され、そういった場合、他施設への騒音などの問題が出てくる事例もある。</p> <p>防災面からの話では、ホールは座席がしっかりしており、地震の時には、広い空間に多くの人数を収容できるように思われるが、実際には吊物などの危険もあり、3.11の地震の際には、天井が崩壊し吊物が落下するなどの事例も発生した。そういったことから、避難先として考える場合、ホールや舞台でなく、ホワイエや平場のリハーサル室等を基本に、部屋数や広さを意識すべきと考える。</p> <p>また、53 ページのゾーニングイメージについて、あくまで個人的な意見だが、ホール機能を単体で配置しつつ、遮音や振動を最小限にすべく、子育て支援や図書スペースを少し遠ざけるL字型の建物構造を提案する。イメージは可児市文化創造センターで、立命館大学と岩倉公園のように、広場を建物が囲んでおり、ガラス張りなので施設から広場を見渡しやすく、広場からも入りやすい構造となっている。もちろん、大屋根などあればいいと考える。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>具体的な話については、次の基本計画レベルにもなってくるが、基本構想で反映できる内容については、事務局でも検討いただければと思う。</p> <p>また、施設配置、形態の話もいただいたが、ここまで基本構想で規定してしまうと、基本計画に制約が生じてしまうことになることから、構想を検討する現段階では、現地建替えなのか、南側に寄せていくのかを基本に議論していければと思う。</p> <p>他の委員からもご意見等はあるか。</p>
黒田委員	<p>現状のプランの位置づけについてうかがいたい。跡地活用のプランはどこで決定されるのか。</p>
秋元部長	<p>基本構想について、市の案をこの検討委員会で議論していただき、パブリックコメント等を経て、最終的に決定という形になる。</p>
久委員長	<p>例えば、敷地の話にしても、基本構想案では、市の案としてB案が良いのではという内容であるが、現時点では、A案、B案のどちらを採用するか決まっておらず、この委員会での議論の中で、A案が良い、あるいは新たにC案という話も出てくるかもしれない。委員会での意見を構想案に反映させ、また、今後のパブリックコメントで出てきた意見などもあわせながら最終的に1つの案に決めていく。</p> <p>また、これはあくまでも基本構想で、今後、基本計画や基本設計で詳細が決まっていく。スタートラインを一緒に作っているとご理解いただきたい。</p>
阿部委員	<p>以前、南グラウンドの下に貯水タンクがあると聞いたが、建物を建てるのに制限があるのか。</p>
向田参事	<p>防災用の貯水タンクが南グラウンドのグラウンド側に埋まっているが、南側の緑地エリアのみに施設を建てれば、貯水タンク本体は避けられる。ただし、施設規模、配置等については、今後、基本計画や基本設計を行う段階でより詳細な検討を進めることにしており、その結果、移設の必要性が生じることもありうる。</p>
阿部委員	<p>タンク自体は大きいのか。グラウンドいっぱいくらいか。</p>
向田参事	<p>グラウンド全体ということではない。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
井元委員	<p>3点、質問と意見がある。</p> <p>1点目は、今回、B案を敷地としていきたいということだが、A案と比べて、駐車場、駐輪場の面で少し課題があると書かれている。B案で決定する場合、子育て支援機能の施設があることから、ベビーカーや自転車で来られる子供連れの方、また、高齢者の方が車でお越しの際に、北グラウンド地下の駐車場からの移動となると少し距離がある。次の基本計画段階になるかもしれないが、駐車場や駐輪場はどのように対応するのか。</p> <p>2点目は、福祉文化会館の機能移転について、52ページに社会福祉協議会の事務室機能としか書かれてないが、ここにはボランティアセンターや、高齢者の相談支援拠点である地域包括支援センターなどもある。地域包括支援センターは圏域ごとに置かれていることから、近くに設置する必要があるなど、場所の移転先については、機能面も考慮して検討していただきたい。</p> <p>最後に、全体を通しての意見だが、もちろん今回は、跡地について茨木市民のためにどうするかという議論だが、市外からも人を呼びこむようなものにもできればとも思う。市外からも人が来たくなるようなイメージ作りをしていき、一時的な来訪から、ゆくゆくは茨木市に住みたくなるようなものにできたらと思う。</p>
秋元部長	<p>1点目の駐車場や駐輪場機能については、やはりB案は劣ると捉えている。駐車場は、北グラウンドの地下か市役所の駐車場を使用することになるが、その動線については十分考えなくてはならない。駐輪場については施設の近くで利便を図れるよう検討したい。</p> <p>また、福祉文化会館の機能については、合同庁舎なども含め、公共施設の全体最適化の視点をもって考えたい。</p> <p>先ほど木村委員からもあったが、市外からも人が集まる、ということについては、大屋根などの中間領域の良さもいかし、中心市街地に人が集まるよう考えていきたい。</p>
久委員長	<p>福祉車両について、数台くらいは施設の近くに停められるような検討の余地はあるのか。</p>
秋元部長	<p>数台はとれると考えている。</p>
田川部長	<p>元市民会館の利用でも高齢者や障害者など、移動に制限がある方から、どうしても施設の前までいけないという要望があった。そういったところは、基本計画など、これからの検討であるが、車寄せをつくるなど、施設</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
福田委員	<p>に入るところについては改善が出来ればと考えている。</p> <p>3点ほどある。</p> <p>1点目は、50ページの比較の表で、唯一判定に「◎」がついているのが、B案の工期の部分である。私は、他に子育て関係の審議会の委員をしているが、委員から強く意見として出たものに、「早く作ってほしい」というものがあつた。今回、プロセスをうかがうと、去年の100人会議からじっくり検討されているのがよくわかるが、いつできるのかを気にしている人もおり、拙速に決めるのは良くないが、是非スピード感も欲しいと思う。</p> <p>2点目に、先ほどの木村光佑委員の話の中で、「人を集めるのではなく、集まってくる施設が必要である」、という考えについては、強く共感する。その上で、子育て世代にとって、A、B案のどちらが集まりやすいかを考えると、B案の方が集まりやすいスペースになるのではないかと考える。</p> <p>3点目に、先ほどから駐車場の話が出ているが、これについて、確かにA、Bを比べるとB案の方が遠いということになるが、本日見学したフューチャープラザでは、利用者から「駅から近くていい」という感想もあると聞いている。比較すればB案のほうが遠いが、その距離感を考えると、B案が格段劣るというわけではないという感想をもった。</p>
中村委員	<p>本日、立命館のホールを見学して、茨木にあの規模のホールが2ついるのかと率直に思った。ホール以外に子育てや、サードプレイス等のキーワードが出ている中で、ホールに大きなお金をかけるが良いのか、また違ったところにその分のお金をまわすことが良いのか、あるいは、立命館は中心地から少し離れているので、そこへのインフラを整備するとか、そういうことも含めて考えられないのか。</p> <p>先ほど木村委員からもあつた、人が集まってくる場所を作るなら、いろいろなことにお金を使える方がよいと思う。私は以前からなるべくお金を使わず、ランニングコストもかからない施設がいいと思っている。</p>
久委員長	<p>38ページのところで、他施設との関係の中でホールを考えていくとあるように、立命館のホールとの関係は今後、基本計画等で調整していただければと思う。</p>
木村（正文）委員	<p>52ページ福祉文化会館等の機能移転の考え方の部分だが、福祉文化会館には文化ホールがあり、現在使われている方も多し。市民会館は閉鎖しているが、福祉文化会館は機能しているので、新しいホールができるまでは、福祉文化会館を残していただきたいと思う。そういう面ではB案の方がいい</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>いのではないか。</p> <p>建物の中には機能と空間があり、井元委員の話は機能面をどう確保するか、木村委員の話は会議室やホールという空間をどのように確保していくのかということである。福祉文化会館のホールをはじめ、空間は新しい施設に集約していくということはわかるが、一方で、例えば社会福祉協議会が持っている機能が、どこにどういう形でシフトさせていくのか、少し書き分けていただけたら、わかりやすくなるのではないか。</p>
渡辺委員	<p>100人会議では、野球やサッカーをしている子どもをお持ちの方も多く、グラウンド以外でも遊べる場所が欲しいとの意見があったが、B案では南グラウンドを緑の広場とした場合、スポーツ利用者への影響が大きいとある。今日もグラウンドではサッカーをされていたが、どれくらい利用されており、どれくらいの人に影響があるのか。市民会館を使われていた方が、閉館によって利用できなくなったように、今度はグラウンドの利用者が困ることにならないか。</p>
久委員長	<p>今のグラウンドの使い方は、借りた方が専有するというタイプだが、B案の緑の広場というのは、岩倉公園のように、みんなが自由に使えるものになるで、かなりイメージ的には違うものになると思う。専有して使っていた一部の方には不便をかけるが、新しい広場は、市民が予約もなく、もっと自由に使えるイメージと捉えていただければと思う。</p> <p>私からは、先ほどの木村光佑委員の話について、構想の内容を充実させることができるのではないかと思うので、少し意見を述べる。</p> <p>南北は元茨木川緑地をつなぎ、東西は駅前通りをつないでいくということになると思うが、南北と東西の軸をしっかりと書き込めば、さらに役割が明確になるのではないかと思う。</p> <p>さらに言えば、すでに元茨木川緑地はアートが設置されるなど、芸術の軸になっており、市民会館跡地エリアに文化施設をもってきた場合、南北の軸が文化と芸術の軸と位置づけられると思う。さらに小川と緑もあるので、ゆとりと緑の軸とも位置づけられる。</p> <p>一方で、東西の駅前通りなどは、賑わいの軸として位置づけられるので、この賑わいの軸と南北のゆとりと緑、あるいは文化と芸術の軸を重ね合わせた時にちょうど跡地が接点になってくるので、より市全体での位置づけについてもはっきりするのではないかと思う。B案を推すという面では、南北軸である文化と芸術の拠点として機能するということにもなってくる。木村委員の図にもう少し書き込んでいけば、より充実したものになる</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
各委員	<p>と考える。 他にご意見等あるか。</p> <p><b>【意見なし】</b></p>
久委員長	<p>では、第6章の事業の進め方について説明をお願いします。</p>
向田参事	<p>前回までの審議内容を踏まえた追記を含め説明する。資料2を見ていただきたい。</p> <p><b>【資料2の第6章の修正案の説明】</b></p>
川本委員	<p>事業手法についてだが、運営会社の観点からいうと、DBOかPFIの方が効率がよいと考える。設計・建設段階では想定ができない部分、例えば、「こういう動線にすれば、2人の配置を1人にできる」といった運営面から見た意見があり、このような意見をくみあげることにより、運営費を抑えられるというメリットがある。</p> <p>舞台については、中規模・大規模修繕が定期的にあるが、従来手法では、そういった予算を想定されておらず、修繕が実施できない結果、機器が駄目になり、想定以上の費用をかけて総入れ替えになってしまうということが、様々なホールで発生している。一方、PFIでは中規模修繕や大規模修繕まで見越して試算、運営を行うことから、施設の寿命が延びると考える。</p>
久委員長	<p>修繕については、本来、直営でもしておかなければならないことである。</p>
川本委員	<p>延ばし延ばしにしている傾向がある。</p>
黒田委員	<p>DBOとPFIの違いは、お金の調達を市が行うのか、民間から借りるところか。</p>
久委員長	<p>例えば、分譲住宅やマンションを購入する際に、業者が建ててローンを分割で払っていくように、PFIも建物を民間業者に建ててもらい、使用料として市から毎年、払っていくということになる。そのため、PFIの場合、イニシャルコストは市が出さないという話になる。</p>
秋元部長	<p>DBOは資金調達を市が行い、国から出る補助金や、市の貯金である基金を使う等、市がお金をやりくりするものだが、PFIは民間会社に一括で任せ、長期割賦で払っていくものである。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>整備手法の導入検討にあたっては、資金調達について、市が行うのか、民間が行うのか、その金利についても1つの判断目安になる。</p> <p>先ほど例え話として、住宅ローンの話をしたが、ローンではその金利分も払っていく必要があるので、一括で自己資金で建築したほうが、金利分は安くなる。しかし、最初に多額の費用が必要となることから、どちらを選ぶのか検討が必要という話になる。</p>
黒田委員	<p>PFIに応募するのは民間企業なので、ランニングコストや修繕費などを含めて、利潤のあがる事業でないと、応募する企業はないのではないかと。今までの運営の状況を見てみると、市から随分お金が入っており、営利として成り立つのか疑問である。</p>
秋元部長	<p>管理運営経費を利用料金だけで運営することは非常に難しいと捉えており、市がいくらかランニングコストをもつことになる。ただ、民間のノウハウなどを活用し、いかに使ってもらえるか、稼働率をあげるか、ということをやしやすい仕組みがDBOやPFIである。来年度、その導入可能性調査を実施し、資金調達や運営コスト、リスクなどを見極めながらふさわしい手法を選択し、事業者等を募集していきたい。募集の中では、一番良い提案をされた事業者を選び、出来る限りコストとサービスのバランスをとりたいと考えている。</p>
久委員長	<p>事業手法の検討は次のステップとなるが、事業者を募集する際の募集要項を受け、事業者では、市が毎年払う費用や、想定される収益などの計算をし、事業提案をする。黒田委員がおっしゃるように、すべて民間業者が資金調達を行い、自分たちの収益だけで運営するということは難しく、市がどれだけ払えるかということもトータルで検討していくことになる。川本委員の指摘もここに関係しており、運営まで一括で考えることで、25年なり30年の運営期間中に必要な修繕費等も加味しながら提案されることから、トータルで考えられるPFIなりDBOがいいのではないかと、というものである。</p>
黒田委員	<p>企業であるので、利潤をできるだけあげようとする。その結果、市民福祉よりも、利潤を優先してしまい、最初のコンセプトと違ったものになったというような事例はないか。</p>
秋元部長	<p>PFIも失敗例や成功例がある。PFIに限らず、直営以外の手法として、茨</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
木村（光佑） 委員	<p>本市では指定管理という制度でも民間に委ねているが、しっかりモニタリングを行い、一番良い選択をできるようにするのが重要であると考えている。</p> <p>一般的な意見だが、跡地活用というのは、いろいろな要望がある中で、この跡地に何もかも詰め込んだらいいというものでもなく、跡地と活用を分けて考えるべきである。図書館にこういうものを入れたらとか、地域にあるホールをもっと活用する方法などを考えていけば、この跡地エリアもより以上に活用されるのでは、という考え方ができれば、ここに何でも詰め込むより、もっと楽に考えられるのではないかと考える。</p> <p>以前、茨木カントリークラブで理事をしていた際に、展覧会やコンサートを開催したことがあるが、JRから茨木カントリーまでのバスを出すことで大変多くの方に訪れていただいた。かつて、梅田のキタの開発にも携わったことがあるが、あちらでは巡回バスが通っている。</p> <p>この跡地に子ども連れなどが集まるというのも良いが、巡回バスを通すなど、他の施設や、これから計画している新しい施設などをつなぐことで、より一層活用されるようになるのではないかと考える。</p>
久委員長	<p>跡地エリアについて市全体の中の位置づけの話は、5章の中に盛り込めればと思う。</p> <p>巡回バス、大阪市の「うめぐるバス」の話が出たので、6章の絡むところで少し話をすると、このバスはエリアマネジメント協議会が運行しているが、立地している企業からもお金をいただいている。エリアマネジメントの考え方というのも重要で、特に6章でお金のお話が出てくるが、何でもかんでも市役所、というものではないと、個人的に思っている。</p> <p>具体的にはこの近辺で言うと、吹田のサッカースタジアムでは、建設費130億円を寄付で集めており、この市民会館跡地においても、クラウドファンディングや市民寄付の制度で、一緒に立ち上げていくというアイデアがあってもいいのではないかと。皆さんのネームプレートが後世に残るということで、子々孫々に、我々が金を出したんだというメッセージを伝えるというのも良いのでは、と個人的に思っている。</p>
福田委員	<p>久委員長のご意見付け加えさせていただく。寄付の文化がなかなか日本で育たないということに関して研究した際に、何に使われるかわからないものに出したくない、という意見が多くあった。市民会館跡地整備の一部に使うことがはっきりしていると賛同される方が出てくると思う。</p>
中村委員	<p>財政負担のところで98億円とあり、そのあとに周辺設備や建設コスト上</p>

## 議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 内 容
久委員長	<p>昇リスクと書いているが、どれくらい上がるのかが見えていない。</p> <p>また、これだけの経費をかけるのなら、現在の立命館のホールに補助を行い、市民がもっと使えるようにすることもできると考えられる。本当にこれだけ大きな費用をかけてホールを建てることありきでいいのかと再度思う。建て直しの話の中で、ホール以外の様々なことを考えていくのは素敵なアイデアだと思うが、100人会議での意見は費用のことまで考えた意見ではないと思う。市議会でも、これだけのお金をかけてホールを作ることに本当に賛同があったのか、少し疑問を持っている。</p> <p>市民も議員にもいろいろ意見があると思うが、最終的に議論の末に結論をださなくてはいけない。</p> <p>先ほどは、木村正文委員から、ホールについて違う観点からのご意見をいただいたと思う。安い、高いという話ではなく、なかなか取れないということをお教えいただいたが、その辺りも検討には加味しなくてはならない。</p>
木村（正文）委員	<p>周年や総会など商工会議所の事業の際には、立命館と話をしながらホールの予約をしているが、現状、「この期間なら空いているのはこの3日ぐらい」、というような状況である。茨木市には成人式やさまざまな行事ができる場所が、現在、立命館くらいしかないので、100人会議でもホールについての意見があったのだと思う。</p> <p>ただし、「立命館の金額が高い」という意見については、元市民会館が安すぎたためであり、実際に、他市のホールと比べてそれほど高いというものではない。</p> <p>寄付については、茨木フェスティバルやイルミネーションでは、商工会議所でも、会員からお金を集めて行っている。お金を出す文化というのはなかなか難しいかもしれないが、魅力のある物についてはお金を出されると思うので、ホールも魅力的なものなら出すかもしれない。</p> <p>大学の入学式シーズンや、茨木市の教育月間などでは、1ヶ月間、ほとんど市民がホールや部屋が使えないという状況もあるので、市民の中でホールを要望する声があるのは事実だと思う。</p>
黒田委員	<p>その意見に異論がある。前回も口頭で伝えたが、私は、アンケートの中で音楽やホールが欲しいと回答した市民は、5,000通の中の3.7%であると、データを読んでいる。この委員会も3回目だが、議論はホールありきの話ばかりで、ホールの必要性について納得できる議論は一度も聞けていない。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
秋元部長	<p>アンケートについては、回答率が少し低い状況にはあるが、ホールという意見については、アンケートや100人会議においても、他の機能と比較して多く、一定数あったと捉えている。</p> <p>しかし、そのホールを検討するにあたっては、市民会館をそのまま建替えるようなものではないと考えており、今回の跡地活用の検討では、100人会議でいただいた意見である、憩いの場や賑わいの場などを踏まえ、ホールにも今までの文化的価値プラスαを見出す、いろいろな価値を見出す「育てる広場」として、より市民に使ってもらいたいと考えており、資料1の43ページにも書いたが、利用しなかった人、できなかった人にも、使ってもらえるような施設を作りたいと考えている。</p>
久委員長	<p>市長から諮問を受けた際のご挨拶でも、検討委員会での議論次第では、構想案を白紙に戻してもらっても構わないとおっしゃっている。今回パブリックコメントにかけるにあたり、各委員からホールが不要であるという声が大きければ修正が必要であるがいかがか。</p>
黒田委員	<p>不要であるというよりも、絶対必要であると納得できるロジックを聞いてない。</p>
久委員長	<p>パーセンテージで判断するのがふさわしいのか、何人という人数が重要なのかというところには、議論もある。</p>
渡辺委員	<p>私が100人会議に出た時には、ホールを熱望されている意見が非常に多かった。</p>
建山副委員長	<p>立命館の施設の中に学生の施設があるが、うまく学生たちに使われているものもあるが、使われていないものもある。これがあれば使うだろうと想定して作ったものも、意外と使われないことも多く、一方、場所がない、施設がない中で、なんとか工面したり、代替を苦労しながらやっている人達に施設を作ると、間違いなくうまく使われる。今回もホールの必要性を議論するのであれば、今現在、茨木市に市民会館のホールが無くなり、困っている方がどのような使い方を調べられるといいのではないか。皆さん苦労しているのなら、作ってもうまく使ってもらえると思う。</p>
久委員長	<p>秋元部長の意見は、潜在的なニーズを掘り起こしていこう、使う面でも皆で一緒に考えていこうということだと理解する。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
川本委員	<p>本日のフューチャープラザ見学の感想という観点で話をすると、市から稼働率を示されていたが、15%が市民、68.5%が大学関係という面が気になった。市民の方が使いたいのに使えていないのか、または団体が減り15%になっているのか状況が見えないので、このパーセンテージからは一概に判断できないが、気になるところである。</p> <p>また、グランドホールは、ある程度の機能はしっかりしており、利用料金も、備品や人の配置などを含め、他市のホールと比べて安いと思うくらいの金額設定と感じたので、市民の人にとっては使いやすいのではないかと思う。</p> <p>フューチャープラザと差別化を図るのであれば、大きくするか縮小させるかのどちらかだと思う。敷地の状況を見ると、700席以上にすると、どこかに無理が生まれ、搬入口や楽屋の数、通路や舞台の広さ、大道具の収納などを削ることになるので、どうしても使い勝手が悪い中途半端なホールになると考える。</p>
久委員長	<p>確かに他のホールと同一規模というのは整合性がとれない。席数の検討は次のステップになると思うが、600、700席規模は、興行という観点では難しいと考える。</p>
川本委員	<p>興行で言うと、2,000席以上が理想である。1,500席でも厳しいといわれている。</p>
久委員長	<p>何名かの委員からは、ホールは不要であるというご意見があったが、パブリックコメントでは、ホールを想定しながらの案を示すということによいか。</p>
中村委員	<p>決してホールがいらぬというわけではなく、お金の使い方について、建設時とそれ以降の試算について、どう行っているのか示されていない。立命館が高くないという話もあったが、新しいホールは元市民会館の利用料より必ず高くなると思うので、どれだけの稼働を讀んでおり、どれくらい税金を使わなければならないのか等を含め、見えてこないところが多いので示していただきたい。</p>
久委員長	<p>このあたりは非常に難しく、今は基本構想レベルであり、一定の方向性を共有する段階である。その意味で、6章でも、今後、財政面を含め、詳細を検討しながら、実現性を高めていくという書きぶりになっている。詳細がわからないと判断できないのは確かだが、基本構想の段階では詳細を</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	発言内容
	<p>詰めるまでに至っていない。</p>
中村委員	<p>6章については、その書きぶりで良いと理解している。</p>
福田委員	<p>本日の見学で、わからなかったところなども理解できた。その中で、確かに立命館にホールはあるが、立命館のホールを主軸に、市のホールとして考えていくということは、厳しいのではないかという感想を持った。</p> <p>また、今後のスケジュールの所だが、あわせてワークショップ、社会実験等「育てる広場」に向けた取り組みを随時実施するとあるが、平成35年に完成とすると、今年生まれた子供が子育て世代からはずれてしまう。ワークショップを考えると、もっと早い段階から動きの中に乗れる利用者がいるのではないかと思うので、そのことがわかるような書きぶりをしていただければ、開館までのプロセスの中で「育てる」仲間に入れるということを書けるよう検討していただきたい。</p>
久委員長	<p>62ページにもあるが、実際に一緒に企画運営をやる方にも一緒に入ってもらって、ワークショップを充実させるべきと考える。市民に呼びかけるというだけではなく、どのような方に呼びかけて、意見が欲しいのかしつかり明確にしていくべきだと思う。</p> <p>また、63ページの5財政負担等とあるが、PPPの話とも連動しているので、順番を変えるとわかりやすいのではないか。</p> <p>これで全て見通したが、パブコメの前に全体を通して意見などあるか。</p>
各委員	<p><b>【意見なし】</b></p>
久委員長	<p>それでは、今までご意見いただいたのでこれを踏まえて修正を重ねていきたいと思う。皆様にお諮りをしたいことが1点あるが、今日の議論を踏まえて、基本構想パブリックコメント案の修正を事務局と私の方に一任してもらっても良いか。</p>
各委員	<p><b>【異議なしの声】</b></p>
久委員長	<p>修正案がまとまれば、各委員に送付するので確認をお願いする。市民の方や在勤の方には、パブリックコメントに参加する資格があるので、ぜひご意見をいただけたらと思う。</p> <p>それでは、今後の日程について事務局から説明お願いする。</p>

## 議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 内 容
小西副理事	<p><b>3. 今後の日程について</b></p> <p>12月12日から来年の1月11日までの期間にパブリックコメント実施する予定である。市民の皆様から意見をいただき、整理の上、第4回の委員会にてお示しする。また第4回では答申案の検討もお願いしたいと考えている。</p> <p>なお、第4回の予定は日程を調整中だが、1月下旬を予定している。第5回は2月中旬に予定しており、その際に答申をいただければと考えている。</p>
久委員長	今後の日程につきまして、質問、要望等はあるか。
各委員	<b>【意見なし】</b>
久委員長	その他何か全体を通して質問等あるか。
黒田委員	この委員会の議事録はあるか。見ることはできるのか。
向田参事	現在、市のホームページに第2回まで公開しており、今回の議事録もまとめ次第アップする。
久委員長	他にご意見等がないようなので、第3回市民会館跡地活用検討委員会はこれをもって終了とさせていただきます。
	以上